

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国人英語指導者の学校訪問事業		
事業担当	学校教育部 教育指導課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	幼稚園、小・中学校の幼児、児童、生徒	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
幼児・児童が外国語にふれたり、外国の生活や文化に親しみをもっています。生徒の英語に対する興味関心が高まり、コミュニケーション能力の基礎が培われています。		幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度を育成するため、外国人英語指導者が幼稚園・小学校・中学校を訪問します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	外国人英語指導者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	9	9	9	9	
活動指標②	指標名	外国人英語指導者延べ訪問日数			単位	日
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	1565	1579	1611		
成果指標①	指標名	外国人英語指導者の学校訪問に係る学校からの評価			単位	点
	説明・算定式	外国人英語指導者の学校訪問に係る学校からの評価(5段階)の平均値				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	3.9	4	4.1		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
外国人英語指導者とともに指導を行うことで、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成を図りました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中学校における英語教育、小学校・幼稚園における英語活動に関する関心は高く、新学習指導要領においても、今後の学校教育において大変重要な位置づけとされています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	外国人英語指導者とともに指導を行うことで、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語教育の推進を図っています。事業の継続によりさらに英語や外国の生活・文化に親しむ習慣形成を図ることができます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	各中学校における12時間程度の授業と幼稚園・小学校における英語活動を通して、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成を図ることができます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	年間の訪問計画を立てるとともに、訪問する幼稚園や小・中学校間の訪問計画の調整等により、効率化が図られています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 幼稚園、小・中学校における英語教育に対する関心は高く、また、学習指導要領では、中学校における英語科の授業時数の増加や小学校高学年における外国語活動の導入が示されており、今後も、外国人英語指導者に対するニーズへの対応が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		外国人英語指導者の学校訪問	外国人英語指導者の学校訪問	外国人英語指導者の学校訪問	外国人英語指導者の学校訪問
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	36,812	37,038	36,677	36,284
事業費 (A)		36,812	37,038	36,677	36,284
執行率 (%)		99.45	99.49	99.52	
内訳	職員 (人)	0.55	0.50	0.50	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		4,543	4,052	4,008	3,180
フルコスト (A+B)		41,355	41,090	40,685	39,464

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 外国人英語指導者とともに指導を行うことで、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成を図ることにより、コミュニケーション能力の基礎を培います。
課長コメント 中学校においては英語科の授業時数の増加、小学校では外国語活動の授業が実施となりました。市民ニーズも含め、外国人英語指導者の増員を図るとともに、外国人英語指導者と指導を行うことで、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度の育成を図る必要性があると考えます。